

ご参考：2026年4月入学
入試問題 <論述試験>
(出題領域：言語文化学)

関西学院大学大学院
言語コミュニケーション文化研究科
博士課程後期課程

論述試験（出題領域：言語文化学）

－2026年2月20日実施－

注意：試験時間は60分（10：20～11：20）です。
問題を解く前に必ず以下に受験番号、氏名を記入してください。

受験番号	
氏名	

以下の問いに対する解答を、日本語で所定の解答欄に書きなさい。

《問い》

ヨーロッパや北米の 17 世紀末から 18 世紀にかけては一般に「啓蒙の時代」と呼ばれる。それはこの時代が「自由」「平等」「人間の尊厳」など現代にいたるまで私たちの世界観や人間観の根幹にあり続ける理念を生みだしたと考えられるからに他ならない。この時代のある思想家は「啓蒙とは、自分自身に責めのある未成年状態から抜け出すことである」と述べた。未成年状態から抜け出すことで、自分にとって大切なことを自ら決めることのできる成年となり、自己だけでなく他者や社会のことも考えることができるようになることとみなすわけである。「啓蒙」という言葉にはまた、理性に基づく人々や社会の改善という意味もある。「啓蒙」ならびに「啓蒙の時代」について、あなたがどのように理解しているか記しなさい。

